

平成26年度実施 協働事業 中間報告

◆行政提案型協働事業

	事業名	パートナー	担当部署
①	応急手当の普及・啓発事業	ひらつか応急手当協力会	消防本部 消防救急課
②	外国籍市民支援放送事業	多文化共生ひらつか情報局	市民部 文化・交流課
③	食品の放射性物質簡易検査	NPO法人ひらつか エネルギーカフェ	市民部 市民情報・相談課
④	感覚統合療法普及事業	ひろげよう子育て支援の会	健康・こども部 こども家庭課

◆市民提案型協働事業

	事業名	パートナー	担当部署
①	平塚市立小・中学校運動場、体育館 個人利用促進事業	東海大学地域スポーツクラブ	社会教育部 スポーツ課
②	市内スポーツ情報ポータルサイトの 構築・運営事業	NPO法人湘南ふじさわ シニアネット	社会教育部 スポーツ課

平成26年9月
平塚市

平成26年度 協働事業 中間ヒアリング調書

26年 8月13日

事業名	応急手当の普及・啓発事業	<input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名：ひらつか応急手当協力会	担当課：消防救急課
事業を実施して良かった点・成果	平塚市の開催する応急手当講習会に4月から7月までに52回講師として参加し、1,498人の受講者に対して、応急手当の知識及び技術を広めることができた。	講習会については、受講者10人に対して、最低でも1人の講師が必要で、受講者多数の場合は、消防隊が対応していたが、災害等で出場してしまう場合もあったため、現在は、協力会が講師として参加し、中断することなく実施している。
事業実施した上で気づいた課題	講習会に参加できる会員の調整に苦慮する場合があります、会員の理解や増員が必要である。また、講習会での指導方法等の統一を図る必要がある。	協力会の会員は19人となり、発足当初から増えているが、平日の受講者の多い講習会へ参加できる会員に偏りが見られ、一部の会員に負担がかかっている。
課題への改善・解決策の協議内容	講習会に参加した会員間でコミュニケーションをとり、指導方法等の統一を図るとともに、定期的に指導方法等について、勉強会を開催し、市民に分かりやすい指導方法を検討する。	消防本部で開催している応急手当普及員受講者の人数を増やすとともに、応急手当普及員の修了者には、応急手当協力会への入会をお願いして、会員数の増員をすることで、一部の会員の負担軽減を図る。
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開 (事業をどのように活かしていくか等) や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施 (<input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外) <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他 () ----- 本年度で3年を終了するが、今後も平塚市の応急手当の普及・啓発に携わっていきたいと考えており、協力会から自治会や事業所等に働きかけるのは困難なため、来年度も市の協働事業として、継続し、共に応急手当の普及・啓発を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施 (<input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外) <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他 () ----- 本年度で3年を終了するが、現在の講習回数及び受講者数を考慮すると消防職員だけでは、対応ができず、講習回数や受講者数の減少は免れない。 そこで、来年度も協働事業として、継続し、共に応急手当の普及・啓発を図る。
意見交換の内容・その他気付いた点 (双方合同で記入)	(上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど) 応急手当の普及・啓発のための講習会を開催していくうえで、現在の消防機関とひらつか応急手当協力会の協力体制は不可欠である。互いに事業を進めても現在の回数及び受講者数の対応は、非常に難しく、今後も協働事業として継続し、多くの市民に対して応急手当の普及・啓発を図りたい。	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成26年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成 26年 8月 22日

事業名	食品の放射性物質簡易検査	<input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
------------	--------------	---

団体・担当課	団体名 ：NPO法人ひらつかエネルギーカフェ 担当課 ：市民情報・相談課	
事業を実施して良かった点・成果	本年度は4月から7月までに、23件の検査を実施した（検査開始以来の累計は121件）。 本年度の検査結果は全て検出限界値未満であり、安全性が確認された。	市民活動団体が検査を目の前で実施し、市民自身で結果の確認ができるので、食品中の放射性物質への市民の不安解消ができ、いつでも検査できるという安心感を確保できている。平成25年度に検査結果が基準値を超えた自家栽培品が1件あったが、消費は回避され、同作物の流通品について重点的に県の検査が実施されることになり、流通食品の安全確保も強化された。
事業実施した上で気づいた課題	23件中3件が家庭菜園から依頼された自家生産品であり、他20件は市民や平塚市が購入した市場流通品であった。 市民が市場流通品を購入して検査を依頼するケースは少なく、対象が限られた検査になっている。	事業開始当初を除き、市民からの検査依頼が少ない状況が続いている。考えられる理由は①食品に不安を持ちながら量的なことなどから検査に至らない②検査実施周知が徹底されていない③公開されている情報から状況が落ち着いたと判断されている、等がある。検査対象の広域化や拡大等に対応していくことも課題と考える。
課題への改善・解決策の協議内容	①検査対象の広域化（大磯町） ②家庭菜園や消費者団体等とのコラボによる検査対象の拡大	市購入品の検査を実施し、消費者対象の講演会やイベントの開催を通じて放射能に関する情報提供や検査実施の周知に引き続き努める。検査対象の広域化、拡大等の検討を進めていく。
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（ <input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（ <input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	消費者側検査が広く存在することが生産者側に慎重な検査を促し、全国規模での食の安全に繋がっている面もあり、検査の継続が重要であるとともに検査対象の拡大が必要。	放射性セシウムの半減期は30年、魚介類等への放射能汚染の顕在化も今後心配される。検査件数減少を理由に検査体制を断念する自治体もあるが、行政として、消費者側の検査・情報公開体制を維持する決断をし、食の安全・安心を未来に繋げていくことが必要と考える。
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど）	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成26年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成26年 8月 7日

事業名	感覚統合療法普及事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 	
団体・担当課	団体名：ひろげよう子育て支援の会	担当課：こども家庭課
事業を実施して良かった点・成果	事業所による遊具の定期的な利用がおこなわれ、これまで勉強会に参加できなかった事業所職員も感覚統合遊具を子どもたちとともに体験することができた。また、一般の親子が参加できる遊ぼう会の実施から、安全な遊具を提供し安心して子どもを遊ばせることができる場としてのニーズを実感した。	事業所の体験利用により、感覚遊具に振れたことのなかった子どもや支援者が、遊具を体験することができた。また、一般参加の体験会である遊ぼう会を実施することにより、少しずつ感覚遊具のことを市民に広めることができている。
事業実施した上で気づいた課題	利用頻度の増加に伴い、ビニールプールを代替しているボールプールのいたみやボールの消耗は激しい。スイングとともに子どもたちに大人気の遊具なので、安全に遊べるよう準備したい。遊具を常設して利用できる環境があるなかで、より多くの子どもたちが利用できるよう考えたい。	利用頻度の増加による遊具の劣化が懸念される。また、利用できる日程が限られている中で、多くの方に体験していただき、感覚統合について普及していくために、方策の検討が必要。
課題への改善・解決策の協議内容	できるだけ禁止や制止することなく、子どもたちが楽しく遊具を体験するために、安全な遊具を的確に配置する必要がある。感覚統合遊具としてより安全な遊具を整え、活用できる環境を整えたい。	遊具の安全な配置やメンテナンスが必要。多くの方に利用してもらうため、次年度の体験対象や研修会の周知対象を検討した。
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開 (事業をどのように活かしていくか等)や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	■双方で実施 (■提案型 □提案型以外) <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他 () 事業所利用については、それぞれの事業所が定期的に利用できる環境が整ったので、くれよんの連絡調整と事業所の自主運営で継続。勉強会の運営は、引き続き連携して実施していきたい。一般の親子の利用を広げるために遊ぼう会の開催を増やすことや外部講師による研修会を市民向けに開催する部分を、会として役割分担していきたい。	■双方で実施 (■提案型 □提案型以外) <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他 () 協議の結果、団体側記載のとおりとなった。
意見交換の内容・その他気付いた点 (双方合同で記入)	(上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど) ボールプールとスイングについては、事業所利用、遊ぼう会ともに子どもたちに人気の遊具であり、安全に利用できる環境を整えたい。	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成26年度 協働事業 中間ヒアリング調書

26年 8月 22日

事業名	平塚市立小中学校運動場、体育館個人利用促進事業		<input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名：東海大学地域スポーツクラブ	担当課：スポーツ課	
事業を実施して良かった点・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民がスポーツを今まで以上に気軽にできるようになったこと ・団体の学生が普段学んでいることを実践する場ができたこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅から近距離に運動できる場所ができ、地域住民が気軽に運動やスポーツをすることができたこと ・体育学部の学生が指導することで、スポーツへの参加意欲が高まったこと ・地域住民のスポーツへの参加意欲およびスポーツ実施率の向上 	
事業実施した上で気づいた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの参加者が集まった時の対応策 ・団体の学生の確保 ・市民のニーズの把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生団体としての特質上、人の流動性が高いこと ・市民ニーズの把握 ・保護者の負担 ・参加者が多くなってしまった時の対応 	
課題への改善・解決策の協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・交代制や種目を絞る等の対策 ・団体の人材確保 ・利用者へのアンケート調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保のための広報活動（団体） ・アンケート調査の実施（団体） ・保護者同伴ではなく、送迎も可とする ・交代制の導入 	
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（ <input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ） <hr/> 団体の人材が増えていないことなどから、開催場所や回数等の拡大を行わず、現状維持で展開していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（ <input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ） <hr/> 市内全域に拡大するには団体の人手が足りないことや、学生団体としての特質上、人の流動性が高いことから、まずは現状維持しながら、団体の基盤強化を図る。	
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど）		

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成26年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成26年8月22日

事業名	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業		<input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名： NPO法人湘南ふじさわシニアネット	担当課：社会教育部スポーツ課	
事業を実施して良かった点・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ課の施策・事業計画が分かってきた。 ・スポーツ関連団体のポータルサイトへの具体的な要望を得ることができた。 ・詳細な仕様について、討議できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・綿密な打ち合わせをすることにより、市民活動団体と事業計画のイメージの共有が出来た。 	
事業実施した上で気づいた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計から詳細設計に入ると、各種の機能要望が明確になってきて、当初予算からはみ出す要望が多く出てきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイトの活用に消極的なスポーツ団体への普及啓発。 	
課題への改善・解決策の協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度計画と予算の中で、更に効率化を図り諸要望から一部の開発をする一方、優先度を付けた判断をいただき、来年度に残り要望を繰り延べることにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体と協働して事業の説明会を行う等、事業のPR・広報活動を行う。 	
事業終了後の具体的な展開 ※下欄 次年度以降の展開 (事業をどのように活かしていくか等)や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施 (<input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外) <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他 () <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度予算でできなかった要望のあった新機能等の継続開発を行う。 ・当初計画で2年度に予定をした200団体相当の追加の情報整備と掲載等を行う。 ・H27.4月からの公開で市民に大いに広報するとともに、円滑なシステム運用をしっかりと行う。 	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施 (<input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外) <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他 () <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・H27.4～公開される団体情報、イベント情報が充実したものになる様、関係団体と連絡調整を密にし、サイトの更新を促す。 ・市内のスポーツ情報を網羅するため、民間スポーツ施設情報等の取り込みを図る。 ・バナー広告等で収入確保を図り、サイトのランニングコスト低減を図る。 	
意見交換の内容・その他気付いた点 (双方合同で記入)	(上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど)		

※現段階で可能な項目のみ記入してください。